

スクラムを組んで！

ほめ写プロジェクト



寄居町青少年健全育成町民会議

会長 加藤 勝己

昨年度から引き続き、会長として寄居町青少年健全育成町民会議の活動に取り組ませていただいております。寄居町青少年健全育成町民会議は、次代を担う子どもたちが、健やかに成長することを願い、家庭・学校・地域が一体となって活動に取り組んでいる団体です。

今年度については、新型コロナウイルスの影響により、地域交流を図る活動がなかなか行えませんでした。しかし、新たな取り組みとして「ほめ写プロジェクト」を実施しました。「ほめ写プロジェクト」とは、PTAの皆さんにご協力いただき、ご家庭で子どもの写真を飾っていただき、写真を見ながら、子どもをほめる機会をつくるというものです。昨今、共働き世帯が増えており、子どもたちと過ごす時間もなかなか取れないご家族も多いと思いますが、こうして意識をして子どもと向き合う機会をつくること、また「ほめる」ということが、子どもの自己肯定感につながり「できるようになった」、「わたしらしくいればいいんだ」というように、自信を持つことが、子どもの成長に著しくよい影響を与えていると考えています。今年度初めて実施した事業ですので、ご協力いただいた保護者の皆さんから意見をお聞きし、今後どのように発展させ、定着させていくか本会議で議論していきたいと思っております。

また、新型コロナウイルスの影響が予断を許さない状況ではありますが、来年度は地域の皆さんと子どもたちの交流の機会がありますことを願っています。

インターネットトラブルにあわないように



寄居中学校区児童生徒健全育成協議会

会長 船橋 幸代

町内の皆さん、日頃より児童・生徒健全育成の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。コロナ禍により、寄居中学校区での健全育成協議会の開催を今年度は行うことができませんでしたが、登下校の見守り、地区内の見回り活動を続けていただいている皆さんへ、この場をお借りして感謝申し上げますとともに、来年度も一緒に子どもたちへの目配りをいただけたら幸いです。

今年度は学校が休校中という形でのスタートとなり、子どもたちも自宅待機を余儀なくさ



れました。約3カ月の間、配布されたドリル、自主学習、ネットから毎日配信される問題を自宅でこなす日々。学校からは、担任の先生からの電話連絡と併用し、学校ホームページで配信されるブログを閲覧するという流れでした。小学生たちのネット活用も本格化。小・中学生に一人一台のパソコンが貸与されました。より子どもたちの生活にネットが浸透していきます。そこで気にならなくてはならないのが、インターネットが原因のトラブルです。課金をしすぎてしまう事案、SNSからの誹謗中傷や写真漏えい、目では見えにくいトラブルがおりうる可能性が、以前より増えてもおかしくありません。大人のわたしたちも目をそらさず知識を得る必要があるのではないかと思います。

スクラムを組んで！

寄居町青少年健全育成町民会議



寄居町青少年健全育成町民会議では、青少年の健全育成を広域的、総合的に推進するために、町内の学校やPTA、民生委員・児童委員などの青少年と関係する団体・機関が連携して、活動を展開しています。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、中止せざるを得ない事業が多かった中で実施した活動について報告します。

■ 青少年の非行・被害防止特別強調月間キャンペーン (7月)

例年は町内3中学校区の健全育成協議会と共に、町内の駅前等でキャンペーン活動を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で、男衾中学校区健全育成協議会のみで実施しました。実施に当たっては、感染防止対策のため手指消毒を徹底、マスクと手袋を着用して啓発物の配布を行い、近年増加している青少年のインターネットを介した犯罪被害の防止を呼び掛けました。

■ 「ほめ写プロジェクト」開始 (8月)

今年度から始まった「ほめ写プロジェクト」は、子どもの写真を飾ることで「子どもをほめる」機会を創出し、ほめることで子どもの自信のもととなる自己肯定感を伸ばすことを目的としています。1年目の今年度は、学校と保護者の方にご協力をお願いして実践していただきました。保護者の方からは「飾った写真を見ることで、撮影時の様子や気持ちをあらためて話すことができ、親子の会話が増えました。ほめることが多くなり、子どもの変化を感じることができました。少しずつ子どもに自信が付き、自主的な行動が増えているような気がします」と感想をいただきました。



■ 道徳講演会 (今年度中止)・実践発表会 (1月)

道徳講演会・実践発表会は「道徳のまち・寄居」を目指し、心のつながりを大切にしたい地域づくりを目的に開催している事業です。これまで3回開催してきましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で道徳講演会は中止しました。

また、町内小・中学生と保護者が道徳をテーマに目標を立て、半年間実践してきた成果について発表を行っていた実践発表会は、発表者が通う学校でそれぞれ発表の様子をビデオ撮影し、各学校の授業等で活用していただくという形で実施しました。発表内容には「進んであいさつをする」、「誰とでも同じように分け隔てなく接する」、「相手の目を見て会話する」など、人と人とのコミュニケーションの大切さに気付き、実践したことを発表したものが複数ありました。SNS等の普及により簡単に情報交換ができる世の中ですが、直接会って話をすることには、SNSでは伝わらない大切なものがあるということを実感できたようでした。

